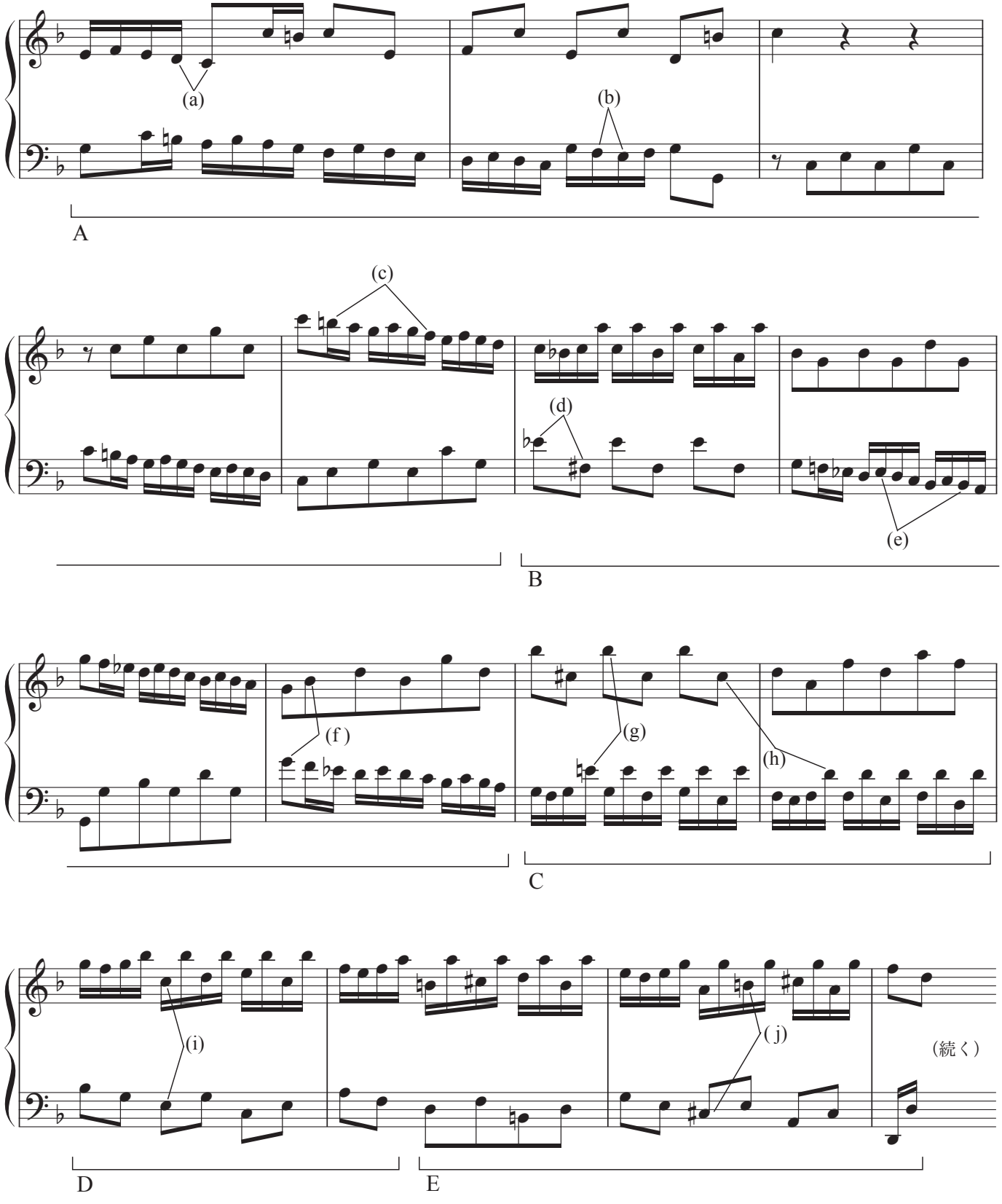
2027年度一般入学試験（前期日程・音楽実技方式）対策

楽 典

模擬(サンプル)問題

ここに用いられた譜例は、J.S. Bach の『インヴェンション』より第 8 番 BWV 779 インヴェンションの一部分です。



I　前のページの譜例を見て、次の問いに答えなさい。

1）(a)～(e)の、それぞれの 2 音間の音程（複音程は単音程になおしたもの）を答えなさい。

2）(f)～(j)の、それぞれの 2 音間の音程（複音程は単音程になおしたもの）の転回音程を求め、それと同じ音程をなす音を、解答用紙の(f)～(j)に書かれた音の下方に書きなさい。

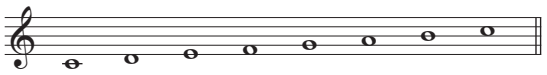
II　前のページの譜例を見て、次の問いに答えなさい。

この譜例は、複数回、転調しています。A～E の ⌊――――⌋ で示した部分の調性を答えなさい。

III　次の音階を、臨時記号を用いて、解答用紙の譜表上に書きなさい。

なお、特に指定のない場合は、その音階（短調の場合は和声短音階）の上行形を書きなさい。

例）ハ(C)音を主音とする長調の音階を書きなさい。



(a)　ニ（D）音を音階の主音とする長音階を書きなさい。

(b)　変ロ長調（B-dur）の平行調の音階を書きなさい。

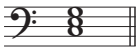
(c)　ロ（H）音を音階の属音とする旋律短音階の上行形と下行形を書きなさい。

(d)　ト短調（g-moll）の下属調の音階を書きなさい。

(e)　ハ（C）音を音階の第 III 音とする長音階を書きなさい。

IV　次の和音を、臨時記号を用いて、解答用紙の譜表上に書きなさい。

なお、音階については、短調の場合は和声短音階とする。

例）ハ長調（C-dur）の主和音の基本形　

(a)　変ニ（Des）音を第 5 音とする減 3 和音の基本形

(b)　変ロ長調（B-dur）の属 7 の和音の第 1 転回形

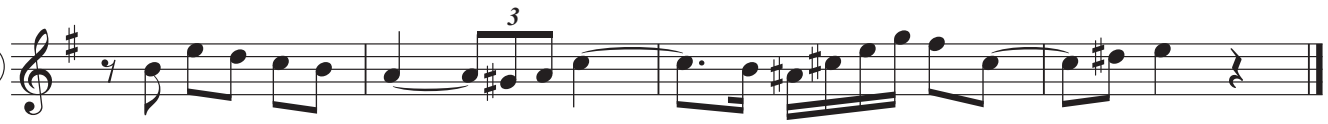
(c)　嬰ト（Gis）音の第 3 音とする増 3 和音の第 2 転回形

(d)　ホ長調（E-dur）の下属和音の基本形

(e)　ニ短調（d-moll）の主和音の第 1 転回形

Ⅴ　下記の譜例を見て、問いに答えなさい。

①

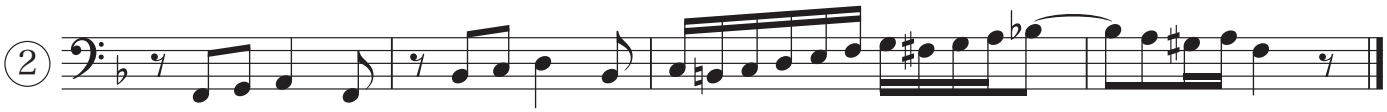


1）　①の拍子を答えなさい。

2）　①を、解答用紙の譜表上に、調号や拍子記号をつけずに、臨時記号を用いて、

長２度低く移調しなさい。

②



3）　②の拍子を答えなさい。

4）　②を、解答用紙の譜表上に、調号や拍子記号をつけずに、臨時記号を用いて、

長３度高く移調しなさい。

VI　次の楽語の意味として、右の中から正しいと思われるものを選び、それぞれの記号（イ．ロ．・・・）で答えなさい。

(a)　legato

(b)　crescendo

(c)　dolce

(d)　appassionato

(e)　ritardando

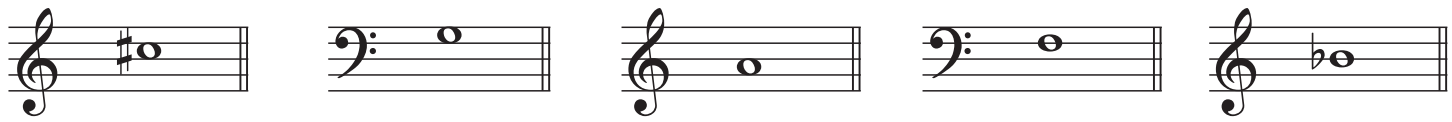
イ．熱情的に
ロ．次第に遅く
ハ．歌うように
ニ．きわめて速く
ホ．次第に強く
ヘ．音を充分に保って
ト．なめらかに奏する
チ．柔らかに・愛らしく
リ．次第に弱く

2027年度一般入学試験（前期日程・音楽実技方式）対策　模擬(サンプル)問題

楽 典　　解答用紙

I　1）(a)＿＿＿＿＿＿＿＿　(b)＿＿＿＿＿＿＿＿　(c)＿＿＿＿＿＿＿＿　(d)＿＿＿＿＿＿＿＿　(e)＿＿＿＿＿＿＿＿

2）(f)　(g)　(h)　(i)　(j)



II　A＿＿＿＿＿＿＿＿　B＿＿＿＿＿＿＿＿　C＿＿＿＿＿＿＿＿　D＿＿＿＿＿＿＿＿　E＿＿＿＿＿＿＿＿

III

(a)

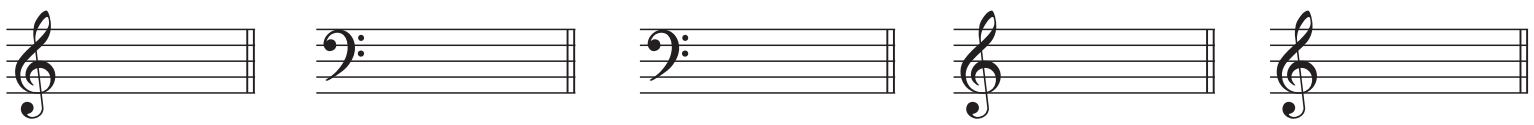
(b)

(c)

(d)

(e)

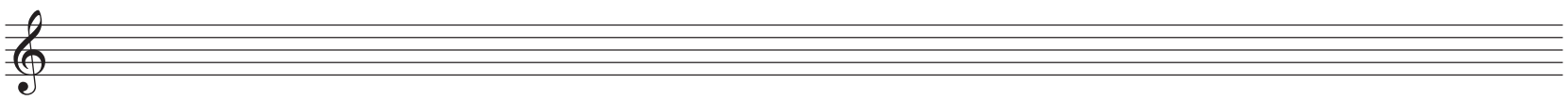
IV　(a)　(b)　(c)　(d)　(e)



V

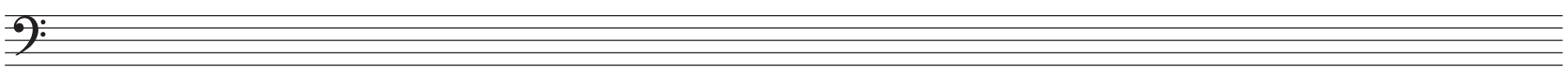
1）＿＿＿＿分＿＿＿＿拍子

2）



3）＿＿＿＿分＿＿＿＿拍子

4）



VI　(a)＿＿＿＿＿＿＿＿　(b)＿＿＿＿＿＿＿＿　(c)＿＿＿＿＿＿＿＿　(d)＿＿＿＿＿＿＿＿　(e)＿＿＿＿＿＿＿＿

楽典の模擬(サンプル)問題についてのガイド

I から VI まであり、音程、音階と調、調の相互関係、調判定、和音、移調、拍子、楽語などを問う問題です。

I　音程（２音間のへだたり）を問う問題です。
音部記号（高音部譜表、低音部譜表)、調号、臨時記号を確認しながら、正確に読譜してください。
音程に関しては、長音程、短音程、減音程、増音程、単音程、複音程、転回音程を学んでください。音程の知識は、音階や和音の理解にも役立ちます。

II　譜例の調判定の問題です。
I の問題と同様に、音部記号（高音部譜表、低音部譜表)、調号、臨時記号を確認しながら、A～E の ⌞――――⌟ で示した部分の調性を判定し、ドイツ語あるいは日本語で記入してください。

III　音階を書く問題です。
12 の長音階と短音階（和声短音階と旋律短音階）が書けるようにしましょう。同時に、音階を構成するそれぞれの音が持つ機能（主音、属音、下属音、導音など）と、調の相互関係を学んでください。
解答用紙の指定された譜表上に、調号をつけずに、臨時記号を用いて音階を記入してください。

IV　和音を書く問題です。
長３和音、短３和音、減３和音、増３和音と属７の和音、および和音の基本形と転回形を学んでください。
解答用紙の指定された譜表上に、調号をつけずに、臨時記号を用いて和音を記入してください。

V　拍子の判定と、移調の問題です。
いろいろな拍子があることを知り、拍を数えることを学んでください。
移調の問題では、まず音部記号（高音部譜表、低音部譜表)、調号、臨時記号を確認しながら、譜例を正確に読譜してください。
移調譜は、調号や拍子記号をつけずに、臨時記号を用いて記入します。
指定された音程に従って、記入する音符１つずつが、移調できているかを確認してください。

VI　楽語の問題です。
楽典の教科書などで、速度、強弱、奏法やアーティキュレーション、表情や曲想を示す言葉を学んでください。身近な楽譜に記されている楽語の意味を調べてみましょう。